

授業科目名	音楽鑑賞	担当教員	山崎綾子
選択	開講年次：1年後期	単位：1単位	授業形態：演習 30時間

【授業概要】

古代から現代へ、また日本独特の音楽から西洋の音楽の歴史を学び、クラシックからポピュラーソング、ジャズ、ロックンロールまで、多様な音楽を鑑賞する機会を持ち、音楽が与える日常生活への影響を体験する機会を持つ。

【授業目的・目標】

Art の1つである音楽が人間にどのような影響を与えているかを体験し、音楽を日常生活に取り入れてゆくことがもたらす Quality of Life を認識し、その治癒的効果のみずから体験する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 講義内容説明 校歌練習音楽理論(階名、音名)
- [02] 校歌練習 音楽理論(譜表と音名、音符と休符) 作品の分析及び練習
- [03] 校歌練習 作品の分析及び練習 DVD鑑賞(前半)
- [04] 校歌練習 音楽理論(臨時記号) DVD鑑賞(後半)
- [05] 校歌練習 音楽理論(音符、休符) 復習プリント
- [06] 校歌練習 クラッピングカルテットⅠ 作品の分析及び練習
- [07] 校歌練習 クラッピングカルテットⅠ 作品の分析及び練習
- [08] 校歌練習 音楽理論(リズム) DVD鑑賞(前半)
- [09] 校歌練習 音楽理論(リズム) 季節の歌 DVD鑑賞(後半)
- [10] 校歌練習 クラッピングカルテットⅡ 季節の歌
- [11] 校歌練習 クラッピングカルテットⅡ アンサンブル演奏(声楽) 季節の歌
- [12] 校歌練習 音楽理論(復習) 作品の分析及び練習
- [13] 校歌練習 音楽理論(まとめ) DVD鑑賞(前半)
- [14] 校歌練習 音楽理論(まとめ) DVD鑑賞(後半)
- [15] 校歌練習 音楽理論(定期試験の傾向と対策)

【教科書】

1. 松山祐士編集(2013) 学園愛唱歌選集, ドレミ楽譜出版社

【参考書】

指定なし

【評価方法・評価基準】

定期試験：70%

関心・意欲・態度の評価：30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：配布したプリントの予習をする。事後学習：配布したプリントを復習する。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

模範解答の提示

【備考】